

講習システム問い合わせQ&A

2026/9/24更新

No	カテゴリー	質問	回答
1	講習準備について	以前のように申請書(内容)をみせてほしい。 短期講習で講習内容を詳しく記載している団体があると思うので、その詳細が知りたい。	システムになり申請書をお示しすることはできません。 内容の確認は開催団体と主任指導員で再度確認してください。 また支部にお問い合わせいただければ、お答えすることは可能です。
2		名簿はいつごろ指導員に届く？	開催団体より講習開始5日前までに支部へ名簿の提出をお願いします。 届き次第主任指導員へメールにてお送りいたします。 開催日近くになり届かない場合は、 支部 へご連絡をお願いします。
3		講習後の名簿は紙で支部へ送るのか	Excelファイルの名簿に可否を入力し、支部に メール でお送り下さい。 「検定用紙」については、講習資機材の返却へ同封していただくか、レターバックでお送りください。 ※報告書・旅費調書・日程表（短期不要）・名簿はメールにてお送りください。
4	アドレスを持っていない受講者	メールアドレスを持っていない(使用していない)場合	ご家族や知人のメールアドレスにて発行を依頼してください。 または開催団体のメールアドレスで発行をお願いします。
5		開催団体のメールアドレスを使用して、受講証を発行・印刷してお渡ししてもよいのか。	開催団体のアドレスで発行していただければ、支部でもどの団体が発行したのか、確認が取れますのでそちらの方法で問題ありません。 なお、同一アドレスでもエラーは発生せずに発行できますのでご安心くださいませ。 ※連続して発行する場合、一度発行ページを閉じて再度QRコードを読み込んで下さい。「続けて発行する」をクリックしますとエラーが出て発行できません。
6		同一のメールアドレスを用いて複数名分の受講証を発行することは可能か。	可能です。しかし申請人数に対して大幅に発行数を超過するとエラーがでますので、お名前ご入力の際にはお間違えの無いようお気を付けください。 連続して発行する場合、一度発行ページを閉じて再度QRコードを読み込んで下さい。 ※「続けて発行する」をクリックしますとエラーが出て発行できません。
		短期講習を複数日開催するので、同じQRコードで受講証を発行していいか。	必ず日付ごとにお送りしているQRコードをご使用ください。 受講証の発行日付が異なってしまいますので、発行する際にはご注意ください。
7	発行処理に	何回まで発行申請をリトライできるのか。	申請人数に対して大幅に発行数を超過するとエラーがでますので、お名前ご入力の際にはお間違えの無いようお気を付けください。発行枚(回)数の上限がありますのでご注意ください。
8		「発行は講習終了日(当日)に終えていただくようお願いいたします」との記載があったが、講習日以降は発行ができなくなるということか。	はい。発行は当日のみです。当日会場での発行を促してください。 なお、当日発行が出来なかった受講者がいらっしゃいましたら開催団体へご相談ください。
9		氏名に入力できない(フォームで受付できない)字体や文字の場合どうするか。	システムに入力できない字体や文字は発行できません。略語等で入力をお願いしてください。
10		QRコードの写真を撮って、後ほど発行していいか。	偽造防止・未受講者への発行防止のため、QRコードの撮影はやめてください。 会場内で発行を促してください。

ついで	11	QRコードを読み込みできない。	他の受講者が読み込めている場合は、ご本人の携帯電話の設定をご確認ください。支部ではスマホ設定や使用方法についての対応しかねます。他の受講者が発行を行う。または開催団体が発行してください。
	12	受講証や認定証の名前部分が「???」で表示される。 (文字化けする)	①表示する機種（携帯電話やパソコン）を変えてお試しください (例：Gmailをスマホで見たが文字化けする→PCで表示してみる)。 ②システムに入力できない字体や文字は発行できません。略語等入力をお願いしてください。 お試しください消えない場合は、支部へお問い合わせください。
	13	「キーが変わりました」とエラーがでてしまう。	専用ページで続けて発行している場合、一度画面を閉じて再度QRを読み込んでください。 原則一講習・一人・一枚の発行です。偽造防止・未受講者への発行禁止にお力ください。 ※原則一人一枚の発行ですので偽造防止のためです
	14	発行QRコードを開催団体が所有するページ(所属するメンバーのみ観覧可能なページ)に掲載しているか。	受講生以外の方が受講証・認定証発行するといった不正防止のため、控えてください。 またQRコードを配布するのではなく、会場内でQRコード読み取っていただくようにQRコードを複数枚印刷するなど準備をしてください（原則、発行は当日のみにします）。 その場で届かない受講者へはNo.15および16をお試しください。
	15	発行QRを学校の専用ページ(先生個人しか見れないページ)や受講生向けアンケートに掲載しているか。	受講者以外の方が受講証・認定証発行するといった不正防止のため、控えていただきたい。 原則、受講当日に受講生の方たちにのみQRコードを示すようにする。
受講証・認定証の受取りについて	16	受講証はまとめて開催団体に送付される形か。 QRコードはどのように開催団体に送られていますか？	昨年度までの紙ベースの受講証は原則発行しておりません。 受講者がそれぞれの携帯端末でQRコードを読み取り、発行をしていただいています。 QRコードは開催通知と同じタイミングで、メールにて開催団体へお送りしています。 メールに添付されているQRコードを当日受講者へ示してください。 ※原則、受講当日に受講者へQRコードを示すようにする
	17	各養成講習の認定証は開催団体が受講者へ送付が必要か。	基本的には受講者および開催団体双方へ認定証をお送りしております。 (開催団体へは合格者全員の受講証+合否名簿をお送りします)。 現状開催団体への認定証送付メール文に「添付のとおり受講者の皆さまの認定証をお送りしますのでご確認ください。受講者の皆さまへ認定証の送付よろしく願いいたします。」となっておりますが、システム改修予定ですので送付の必要はございません。
	18	救急法基礎講習および各養成講習のQRコードはどのように開催団体に送られていますか？	基礎講習と養成講習を同時実施する講習については、 開催団体に2つ（基礎講習と養成講習）のQRコードが届きます。 また、救急法基礎講習については、1回のQRコード読み込みにて認定証と受講証の両方が発行されます。
	19	受講証が届かない。 ※救急法基礎講習認定証含む	【考えられる状況】 ① 携帯電話のデータ容量が足りない (Wi-Fiが繋がっている場所でお試しください)。 ② 迷惑メール設定を変更してもら う(koushu@kanagawa.jrc.or.jpのアドレスから届きます)。 ③ 個人の受信ボックスの容量不足のため、受信できない。 ④会社などのアドレスですと、会社自体が受信制限をかけている場合があるので 個人のアドレスを使用 するなどご確認ください。
その他	20	養成講習の認定証が届かない。	処理までに3～4週間かかる場合がございます。 発行後、支部にエラーで戻ってきているアドレス(受講者)については、開催団体へお知らせいたしますので、開催団体より受講者へ認定証をお送りしてください。 ※短期講習の受講証および救急法基礎講習の受講証・認定証についてはNo.17をご確認下さい
	21	受講者名簿等、個人情報載ったものの取り扱いについて。	支部から報告書メールの受領確認メールが届いたら、当該ファイルの削除をお願いいたします。 また、当該ファイルを各指導員のパソコン等に残す、受講者名簿の二次利用等は絶対に行わないようお願いいたします。
	22	7月下旬頃まで、養成講習を未受講や欠席等で最終日まで受講しなかった受講者に対して、不合格メールを送付してしまっただ。	当該の受講者には、不合格メールを送付しないようにします。 主任指導員は今まで通り、合否を入れて支部へご返送下さい。 今後システム改修があり、手順変更が必要な場合はご連絡を差し上げます。